

「始良市立漆小学校の漆バラ踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	始良市立漆小学校		
2. 学年・人数	1年生から6年生（計30人）		
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和6年8月 地域指導者と基本の動き練習（本校体育館） 令和6年9月 体育及び創意の時間による練習（本校運動場） 陣形確認及び発表前リハーサル（本校運動場）</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和6年9月29日（日）漆校区・小学校合同秋季大運動会 （本校運動場）</p>		
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	<p>(1) 名称 市指定無形民俗文化財 漆バラ踊り（うるしばらおどり）</p> <p>(2) 由来 豊臣秀吉の朝鮮出兵時の凱旋祝いとして踊り始めたと言われている。</p> <p>(3) 構成等 ドラ打ち2人・鉦打ち（かねうち）約6人・バラ打ちの約20人で隊形を組み、竹バラに紙を張った「バラデコ」と鉦を打ち鳴らして踊る。踊りは、「三ツベ・カラ太鼓・七ツベ・門掛り・ビナマキ・ビナほどき・歌・引き」の八つの形からなり、これは島津の軍が、「ビナマキ（渦巻き）」戦法で攻め落とした様子を、「バラ踊り」の形で後世に伝えたものであると云われている。現在は踊り手も少なくなり、踊りも昔より簡素化されている。</p>		
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>四者協議（学校・PTA・コミュニティ協議会・保存会）のもと、「それぞれができることを少しずつ協力し合い、伝承していくこと」となった。具体的には、協議会に事務局を置き、同会長が漆バラ踊り保存会の会長を兼任。協議会と保存会を中心に、日程調整や夜間練習の送迎、会計等を行っている。また、地元の指導者との連携を図っている。学校は、体育及び創意の時間で練習を行い、協議会とPTAの連絡調整や広報、踊りへの参加を行っている。PTAは、道具等の修繕や練習サポート、映像による保存と踊りへの参加を行っている。四者が連携を強化し、活動を円滑に継続している。</p>		
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>夜練習の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>保護者の修繕の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>運動会で披露</p> </div> </div>		
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【児童】 練習は大変だけど、踊り終わった後の達成感がある。楽しい。</p> <p>【保護者】 地域の方や他の保護者とつながれることで、我が子のいろいろな一面を知ることができる。ありがたい。</p> <p>【地域】 みんなで伝統芸能を守ってしてくれるのが大変ありがたい。</p> <p>【学校】 多くの大人で児童を育てているので、地域に温かい雰囲気がある。</p>		